

2020年3月吉日

各位

「世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus」

事業終了にあたっての御挨拶

謹啓 陽春の候、いよいよ御清栄のこととお慶び申し上げます

平素は格別の御高配を賜り心より感謝申し上げます。

この度、国立研究開発法人科学技術振興機構所管の「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」の採択を受け、2016(平成28)年10月から学校法人慶應義塾を中核機関として展開してまいりました「世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus」(以下、「WRC」とします。)が2020(令和2)年3月末日をもちまして、プログラム期間満了により終了することとなりました。

WRC 事業では川崎市殿町キングスカイフロント地区を中心に、1. Global Wellbeing Innovator、2. Data-driven Innovation for Wellbeing、3. Sustainable Research Campus を Vision として掲げ、異分野融合研究、事業化支援、共通基盤整備、人材育成、クラスター推進等の活動を担ってまいりましたが、近隣の研究機関との協働により、特色ある研究シーズを生み出すエコシステム、1. 知的創薬基盤、2. 再生・細胞医療生産基盤、3. データ・情報基盤 PeOPLE、4. 医療機器・ロボティクス基盤を樹立することができました。

この間殿町においては、慶應義塾大学殿町タウンキャンパス、東京工業大学中分子 IT 創薬研究推進体、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科が開設され、国立医薬品食品衛生研究所が世田谷から移転し、企業を含めた立地機関は14機関から69機関に増加、就業者数は約1400名までに成長しております。

皆様におかれましては百寿コホート研究等の研究活動に携われた方々、ジュニアから社会人までを対象としたサイエンス&アントレプレナープログラムへご参加の方々、融合研究に参加しシーズの事業化に挑まれた方々、多様な形で本プログラムをご支援いただき、オーガナイザー一同厚く御礼申し上げます。

2020(令和2)年4月からは、公益財団法人川崎市産業振興財団を中心として、川崎市によるご支援を受けながら世界最高水準のクラスターを目指し拠点を運営してまいります。去る3月11日には慶應義塾大学と川崎市産業振興財団の間で殿町キングスカイフロントの更なる発展を目指し、“殿町ウェルビーイング宣言”を採択、今後の両者のコミットメントを表明致しました。

今後も地域の皆様、企業、研究機関、大学、自治体等の皆様のご参加をいただき、地域に特色あるエコシステムづくりを進め、日本を代表するイノベーション拠点として、殿町キングスカイフロントを成長させ続けることができると信じております。

引き続きのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

学校法人慶應義塾 常任理事
殿町リサーチコンプレックスオーガナイザー
青山 藤詞郎
同 オーガナイザー
吉元 良太
武林 亨
服部 恵子